

横浜市瀬谷区総合庁舎及び二ツ橋公園整備事業

「2009年12月19日 公園樹木の説明会」における出席者からの意見・要望と回答

no	意見・要望	回答
1	移植樹木は、どこに移植されるのか。	敷地内で移植しているほか、工事スペースが非常に限られているため、敷地内で移植できない場合は、場外に一旦移植養生し移植が可能になった段階で敷地内に移植しています。
2	敷地西側のケヤキと南側の桜の間にある2本の樹木について伐採とあるが、伐採したスペースについてはどうなるのか。	移植樹3本と新植樹1本配置する予定です。
3	場外に一旦移植養生するとあるが、枯れた場合、その減少分はどのように考えているのか。	新植の樹木で代替する予定です。
4	代替樹木について、移植するはずだった樹木と樹種や年数は同等のものか。	基本的に流通している樹木から選定することになるため、同等かもしくは小ぶりのものになります。
5	弱っている樹木は伐採するという話だが、回復させる努力はしないのか。	病気の樹木を完全に治療することは技術的に難しいと考えています。
6	樹木を保存・移植活用する努力を感じるが、南西の大ケヤキ4本を伐採することについて理由を知りたい。	計画敷地の高さ制限の中で、必要量の床面積を確保するための大きさを算定すると平面的に大きくなってきます。また、建物の整備場所も段階的に整備することなどにより限られています。このような条件のもと、出来る限り大ケヤキを残せるよう計画し、今回2本残せています。
7	保存樹木、移植樹木を含めた、樹木計画のコンセプトを聞かせてほしい。	現位置で残せるものはできる限り保存する、移植活用で残せるものは移植を検討する、新植樹木についても花が咲いたり、紅葉したり、新緑が美しいなどの特徴がある落葉樹を中心に植栽予定である。また、緑葉樹についても、特性を生かした計画とします。
8	最終的な植栽計画を決定する前に再度説明会を開いてほしい。また、移植樹木が一時移転後にどうなったかを報告してほしい。	樹木の説明については詳細設計を進めた後、説明会はまた後日行う。